


まほろば秦野通信

平成27年9月25日

秦野市市長室広報課

タイトル	県内初の試み 在宅医療ICTシステム構築モデル事業の実施について
When (いつ)	10月～
Where (どこで)	国立病院機構神奈川病院を中心に地域の医療・介護の関係機関
Who (だれが)	
What (なにを)	在宅医療の充実に向けた医療介護連携体制の構築を目的に、標記「モデル事業」を県補助事業として開始いたします。
How (どのように)	<p>医療と介護の連携をよりスムーズに行うために、ICT（インターネット技術）を利用し、国立病院機構神奈川病院を中心に地域医療機関等との連携を構築し、地域の患者さんの情報などを共有することで、在宅医療と介護の連携を強化し、将来的に地域包括ケアの円滑化を図っていきます。</p>  <p>The diagram illustrates a circular flow of information and collaboration. At the top, two cartoon figures represent '患者さん' (Patients). Below them, a green circle connects three entities: a hospital building labeled '病院' (Hospital), a clinic building labeled '診療所' (Clinic), and a green box labeled '秦野伊勢原医師会' (Aino-Isewara Medical Association) at the bottom.</p>
今後の取り組み	第一段階として、病院・診療所の連携。第二段階として介護等との連携を構築していく
問い合わせ	高齢介護課 担当：石川 0463(82)7394 秦野伊勢原医師会事務局 0463(81)5018